

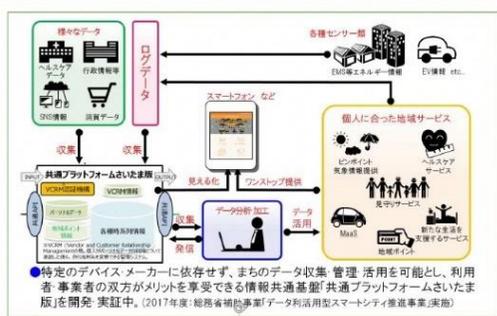
スマートシティさいたまモデルの推進

コンパクト さいたま市が理想とする都市の縮図であるスマートシティのモデルの構築

スマート AIやIoT、データを活用した社会課題の解決

レジリエント スマートホーム・コミュニティの整備

共通プラットフォームさいたま版（オープンAPI：情報統合基盤）



さいたまサステナブル都市サミット ~E-KIZUNA グローバルサミット~の開催

コンパクト **スマート** **レジリエント**

令和4年11月22日から24日の3日間、「持続可能な都市の実現に向けて、今、わたしたちがすべきこと」をテーマに、さいたまサステナブル都市サミットを開催しました。会議には海外9か国、15都市をはじめ、国内外から329名に参加いただき、6つの分科会で効果的な施策や知見の共有、意見交換を行いました。クローージングでは、清水勇人さいたま市長が「さいたまサステナブル都市サミット宣言」を発出し、マルチレベルでの連携の重要性を共有しました。



▲さいたまサステナブル都市サミット テクニカルツアー視察

都市OS

コンパクト **スマート** **レジリエント**

「スマートシティさいたまモデル」では、様々なデータを組み合わせることで、新たなサービスを創り、市民生活の質を高めていくことを目指しています。

データを管理・分析するための、「共通プラットフォームさいたま版」（都市OS）を基盤として、分野間（健康、交通等）・自治体間の連携や、民間事業者による生活支援サービス等の実証・社会実装に取り組んでいます。

「スマートホーム・コミュニティ」

コンパクト **スマート** **レジリエント**

さいたま市では、環境負荷の低減やエネルギーセキュリティが確保され、住みやすく、住民同士のコミュニティ醸成にも寄与する「スマートホーム・コミュニティ」の普及に取り組んでいます。

先導的モデル街区第3期（R4.2 竣工）ではPPAモデルを採用した先進的な取組を行っており、新聞や報道番組などの各種メディアに取り上げていただき、環境大臣や米国のEPA長官、「さいたまサステナブル都市サミット」のテクニカルツアーなど国内外からご視察いただきました。

熊谷スマートシティ

- コンパクト** スポーツを核とした魅力向上によるまちなかの活性化
- スマート** スマート技術を活用して、暑さに負けず、快適に、楽しく、いきいきと暮らせるまちを実現
- レジリエント** 暑い中でも健康で快適に過ごせるまちの形成



データ利活用検討調査

コンパクト スマート レジリエント

「くまぶら」をはじめとして、熊谷市や熊谷スマートシティ推進協議会の取得データを活用します。令和4年7月1日から8月31日まで、「スマホde 雪くまスタンプラリー」を令和5年1月7日から2月19日の期間で、「スタムム謎解き事件簿」を実施しました。

データ活用部会等で、まちなか回遊性の向上等、データの活用を進めています。

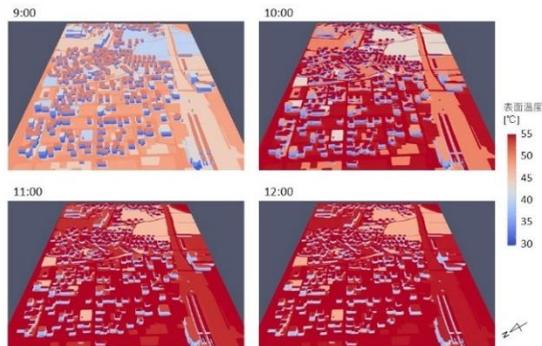
熊谷まちあるきアプリ「くまぶら」

コンパクト スマート レジリエント

熊谷まちあるきアプリ「くまぶら」として、LINE ミニアプリサービスを展開しています。

熊谷市内の様々なお店のお得なクーポン、気象情報、熊谷スポーツ文化公園や市内のスポーツ情報を配信しています。

【熊谷市公式 LINE】▶
熊谷市公式 LINE→くまぶらに登録できます。



温熱環境シミュレーション

コンパクト スマート レジリエント

3D都市モデルを活用し、温熱環境シミュレーションを実施しました。熊谷版スマートタウンの適地選定に活用しています。

秩父市移動支援プロジェクト～未来へ紡ぐ結いまち～

- コンパクト** 地域拠点を中心としたコンパクトなまちづくり
- スマート** ヒトとモノの動きをIoT技術で融合し、最適化と利便性向上を目指す仕組みづくり
- レジリエント** 平常時でも災害時でも活用できる脱炭素社会に向けた新しい仕組みづくり



物流5事業者が連携した共同配送プレサービスの実施

コンパクト スマート レジリエント

秩父市内大滝地域では、小売店の減少に伴い、宅配サービスの重要性が高まっている。一方で、物流業界はドライバー不足や山間地域の配送効率の低下が課題となっている。

そこで、持続可能な物流モデルを検証するため、令和4年9月27日から29日の計3日間、計5社の物流事業者が連携する共同配送のプレサービスを実施。大滝地域あての荷物をヤマト運輸が集約し、受取人の自宅まで配送を行った。プレサービスを通じて得られた成果や課題を踏まえ、令和5年度以降の本格運用に向けた検討を進める。

ドローン配送と遠隔医療の実証実験を実施

コンパクト スマート レジリエント

ドローン配送分野では、令和4年11月7日から17日にかけて、物流ドローン機体を活用し、秩父市内大滝地域に位置する「道の駅大滝温泉」から「二瀬ダム管理事務所」前まで、往復約6kmの距離で弁当や飲料などの物資の配送を行った。

遠隔医療分野では、令和4年12月9日と16日、大滝診療所に来院した患者に対し、医師同席のもと、秩父市立病院の管理栄養士から患者へ、栄養食事指導をオンラインで実施。

また、同年12月8日と15日、大滝診療所の看護師が患者の自宅を訪問し、デジタル聴診器を患者に当て、診療所にいる医師がリアルタイムに聴診器を聴きながら遠隔での診察を実施。

両分野の実証を踏まえ、社会実装に向けた検討を進める。



【関連事業】秩父市・横瀬町の広域連携～デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用～

コンパクト スマート レジリエント



令和5年1月12日から、秩父市では、既存の乗合タクシーサービスに、AI デマンド運行システム「SAVS(サブス)」を導入し、利用者の要望に応じたリアルタイムでのルート最適化が可能となった。

連携する横瀬町では、同年2月1日から、既存のAI デマンドタクシーの地域外(秩父市内)の乗降場所を増やして運行し、横瀬町と秩父市を結ぶ交通手段としてより便利に活用できるようになった。

さらに、同年2月21日には、新しい観光情報サイト「のってみ秩父」が公開。秩父市・横瀬町の観光体験の向上、観光客のリピート率向上への寄与を目指す。



「のってみ秩父」スマートフォン専用外部サイト

入間市版スーパーシティ構想

コンパクト 地域における総合窓口・地域コミュニティの拠点の構築

スマート ICT 技術を活用した高齢者の外出機会の創出

レジリエント 災害被害に対するレジリエントの強化



「外出モチベーション向上による 高齢者の健康長寿延伸の仕組みづくり」の実証実験

コンパクト **スマート** **レジリエント**

乗り合い送迎サービス「チョイソコ」を活用し、高齢者の外出機会を創出させ、**高齢者が外出するモチベーションを高めることで健康増進が図れるかを検証する実証実験を令和3年度と4年度に実施しました。**参加者のチョイソコ利用回数と体力測定データを分析し、**産学官13者の連携によって、健康増進効果を医学的に検証する取り組みは全国初になります。**今後は実証実験の成果を踏まえ、実装化に向けて進めていきます。



▲東金子地区センター(令和5年4月設置)

再生可能エネルギーの導入による レジリエンスの強化

コンパクト **スマート** **レジリエント**

市庁舎に太陽光発電設備を設置し、公用車としてEVを導入しました。EVは、公用時間以外は市民等とシェアリングします。

また、**災害時に備え、太陽光発電による非常用電源の確保、EV蓄電電力の災害拠点等での活用を進めるべく、今後、他の公共施設にも導入を展開していきます。**



地区センター開所、福祉総合相談窓口の運用開始

コンパクト **スマート** **レジリエント**

市では平成31年3月に策定した「公共施設マネジメント事業計画」に基づき、公共施設の再整備・再配置を進めており、地区センターはその一環として、支所や公民館などの6つの機能を備えた複合施設として整備するものです。**各種行政手続や地域の支援等を行う、各地区のまちづくりの拠点施設として、令和5年4月に地区センターを9地区に開所しました。**開所当初は、タブレットを用いて地区センターと市役所各課を接続し、身近な福祉の相談窓口をスタートします。

和光市版スーパーシティ構想

- コンパクト** 新たな交通システムによる都市機能の集積
- スマート** 拠点を結ぶ自動運転サービスの導入
- レジリエント** 安定的な自動運転サービスに向けたエネルギー供給

自動運転バスが走行する車線整備

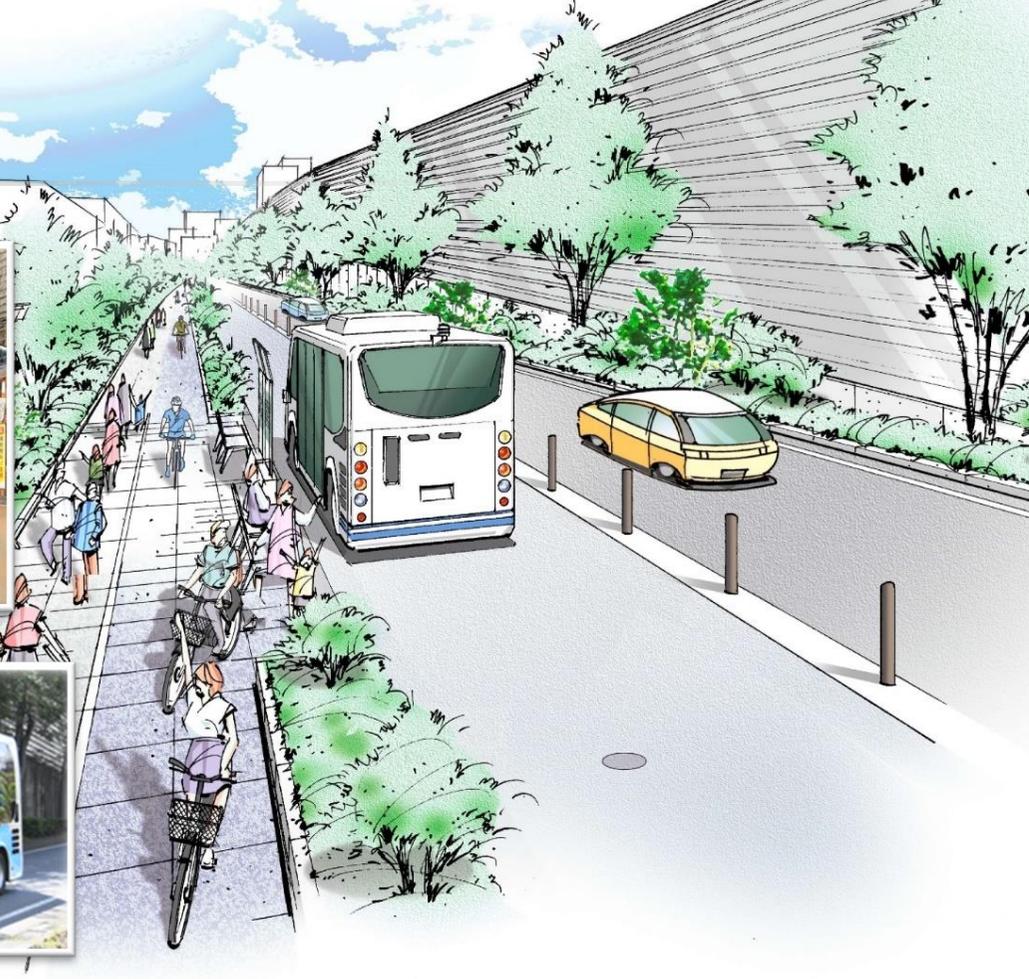
コンパクト スマート レジリエント

自動運転バスが走行する車線として、外環高速道路の側道部（市道）の約 800mの区間で車線を増設する整備を実施中。

走行においては、増設車線に「バス専用通行帯」の規制をかけ、実証走行を令和 5 年夏頃に実施予定。



走行予定のバスのイメージ
コミュニティバスサイズでの実証・実装走行を予定している。



和光市駅北口土地区画整理事業

コンパクト スマート レジリエント

和光市駅北口は、立地条件に恵まれているものの、その周辺道路は狭く、住宅が密集しているなど課題を抱えています。

本事業は、和光市駅北口に新たな駅前交通広場や道路、公園を整備し、安心・安全なまちづくりを目指しています。



和光市版スーパーシティ構想・まちづくりシンポジウムの開催

コンパクト スマート レジリエント

令和 5 年 1 月 23 日、和光市民文化センター（サンアゼリア）において、「和光市版スーパーシティ構想・まちづくりシンポジウム」を開催しました。243 名と多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。



久喜市 南栗橋8丁目周辺地区のまちづくり

- コンパクト** コンパクト・プラス・ウォークアブルなまちづくり
- スマート** 次世代技術を活用した、日常生活に関するサービスの提供
- レジリエント** 電力供給ルートの分散化による、本地区のレジリエンス強化

プロジェクト概要

コンパクト スマート レジリエント

「BRIDGE LIFE Platform 構想」は、南栗橋8丁目及びその周辺を対象とした地区において、「人と人」、「人と健康」、「人と未来」などをつなぐという「BRIDGE」をコンセプトに、産官学の5者（久喜市、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社、イオンリテール株式会社、早稲田大学大学院小野田研究室）連携による次世代の街づくりを進めていくプロジェクトです。

先進技術を取り入れたスマートタウンの整備

コンパクト スマート レジリエント

本地区においては、令和4年5月に実施された街びらきの後、ZEHの建築などが順調に進んでおり、令和5年1月末現在、既に10世帯23名の方が居住しています。



～BRIDGE LIFE Platform 構想～



次世代モビリティの走行実験

コンパクト スマート レジリエント

次世代技術を活用した取組の一環として、早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 小野田研究室により、自動配送ロボット及び非接触ごみ収集ロボットの走行実験が進められています。



毛呂山町版スーパーシティ構想

コンパクト 都市公園・空き家空き店舗を拠点とした地域の交流及び活性化

スマート ヒトのスマート化を通じた安全安心の持続可能なまちづくり

レジリエント 災害被害に対するレジリエントの強化

地域情報写真配信サービス ビューちゃんねる

コンパクト スマート レジリエント

令和元年10月の台風19号の教訓から、道路や河川をリアルタイムに町ホームページやケーブルテレビ(ゆずの里ケーブルテレビ)で確認できる仕組みを構築し、運用中です。

今後も、地域情報写真配信サービス ビューちゃんねるを活用した町の安全安心に取り組んで参ります。



防災DX実証実験

コンパクト スマート レジリエント

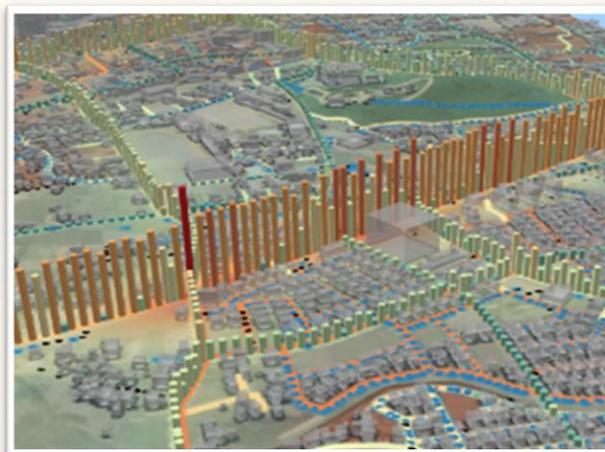
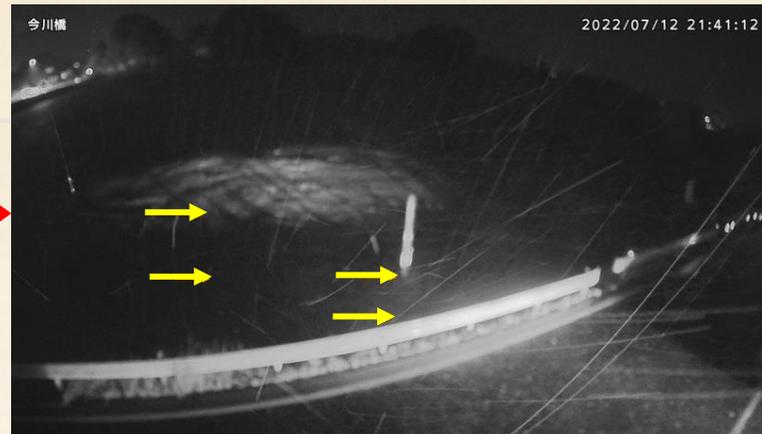
令和元年に発生した台風19号の課題から、避難時の手続き簡略化、体調不良者のケア、町民や職員の負担軽減を目的に、3D都市モデルと連携した防災DX実証実験を令和4年6月19日に実施しました。

参加者の皆さまのご協力により、有効なデータを取得することができました。

見守りカメラにより川の増水の様子をリアルタイムで提供
(R4.7.12大雨時の今川橋)



見守りカメラにより道路の増水の様子をリアルタイムで提供
(R4.7.12大雨時の川角中学校南交差点)



▲3D都市モデルで道路の「荒れ指標」と「交通量」を可視化

3D都市モデル体験会事業

コンパクト スマート レジリエント

現在構築中である3D都市モデルについて、参加者に実際に体験してもらうことにより、様々な皆さまのアイデアやご意見を反映する機会として、3D都市モデル体験会を令和4年6月24日に実施しました。今回は特に、「道路」や「まちづくり」に関するご意見をいただきました。

小川町版スーパー・シティプロジェクト

- コンパクト** 地域の魅力を感じられると共に、利便性が高い市街地の形成
- スマート** ICT技術を活用した安心・安全な暮らしと脱炭素を目指した移動の確保
- レジリエント** 災害停電時の避難所の電源の確保

～安心・安全な暮らしの実現～

サテライトオフィス・
コワーキングスペース、
レンタルキッチン・
カフェスペースエリア

東小川学校跡地活用

コンパクト スマート レジリエント

東小川住宅団地内の学校跡地へ必要な都市機能を誘導し、地域住民が集う拠点の整備を進めています。

学校跡地の利活用イメージとして、パース図を作成しました。東小川学校跡地活用に向けて、令和4年8月に都市計画（用途地域・地区計画）を変更し、令和5年度は道路や上下水道等のインフラ整備工事を進めていきます。



道の駅おがわまち再整備

コンパクト スマート レジリエント

令和4年2月に「道の駅おがわまち再整備基本計画」を策定しました。再整備のコンセプトは「手漕ぎ和紙と有機の里 道の駅おがわまち」です。

観光や地域振興の拠点として再整備していきます。



▲東小川学校跡地活用のイメージパース図

地住宅団地再生事業に関する協定締結

コンパクト スマート レジリエント

令和4年10月18日、株式会社クラフティと東小川住宅団地内学校跡地の活用による住宅団地再生事業を推進し、町全体の活性化につなげていくことを目的に、下記の主な項目に関して連携協定を締結しました。

- ・サテライトオフィスの開設
- ・防災備蓄倉庫、災害時の避難所など防災に関すること
- ・地域イベントへの参加
- ・地域向けイベントの企画・開催



鳩山NT版コンパクトシティ+ネットワークプラン

コンパクト 複合施設を中心としたコンパクトなまちづくり

スマート 高齢者など交通弱者の移動の確保

レジリエント 災害時でも途絶えない電源の確保

鳩山ニュータウン商店街 魅力再発見ウォーキングラリー

コンパクト スマート レジリエント



令和5年1月14日・15日に鳩山町コミュニティ・マルシェの視点管理者である(株)RFAによる「鳩山事業ニュータウン商店街 魅力再発見ウォーキングラリー 商店街視点探しゲーム」が開催されました。

これは、地域で暮らす消費者や生産者等が「地元」や「商店街」の良さを再認識するきっかけとなる取り組みを支援する、中小企業庁の「がんばろう!商店街事業」の補助事業を活用したイベントです。

子どもから大人まで幅広い年代のかたが参加し、「おもしろい発見や新たな発見があった」と楽しそうに話していました。



複合施設を核とした地域拠点の構築

「相続講座&空き家ツアー」を開催しました

コンパクト スマート レジリエント

令和5年1月22日、(株)RFAによる「相続講座&空き家ツアー」が開催されました。

この事業は、移住促進を図るための空き家バンクを運営する中で、鳩山町の空き家への移住希望に対し、供給できる家が少なく、町内への転入のチャンスを失っていることから空き家の流通促進のため開催され、延べ34名の方が参加しました。



あらゆる交通モードを有機的に連携した、自由に移動ができる環境を構築

コンパクト スマート レジリエント

令和4年4月からAI交通である鳩山町デマンドタクシー(はとタク)の町外運行及び土日運行を開始しました。

町外運行とは、町外拠点への乗降所の追加ですが、町外の交通モードと有機的な連携ができるよう、発着のいずれかを鳩山町としています。

つまり、町外乗降所間の移動は、既存の町外路線バス、タクシーへの乗り継ぎによって行うことで、既存交通の新たな需要拡大に繋げ、交通モード間のWINWINな関係を構築しています。

インターネット予約も開始し、AI交通として進化するとともに、インターネットを利用しない方も予約できるよう、土日電話予約の受付も実施中です。

「カラフルタウン」横瀬町における賑わいづくり中心地づくりプロジェクト

コンパクト 町内遊休資産や観光拠点・資源等を活用した賑わい・中心地づくり

スマート 官民連携・DX を通じたスマートな賑わい・中心地づくり

レジリエント 安心安全な賑わい・中心地づくり

「TATE Lab.」 オープン

コンパクト スマート レジリエント

LAC 横瀬の 2 階スペースに、都内の企業が新たに進出しました。

(株)SCHEMA の取り組む「SCHEMA TATE Lab. PROJECT」として、地域材を活用したモノづくりをすることで、より生活を豊かにすることをテーマに、横瀬町の資源から、独創性のある家具やアイテムを制作することで、町の資源価値をリブランディングし、新たな価値創造を発信していくための拠点として、「TATE Lab.」をオープン。(R5.3.16)

木工 CNC ルーターの「shop bot」を配備し、独創的なデザインのアイテム作成を行っています。



AI デマンドタクシーのリニューアル運行開始

コンパクト スマート レジリエント

秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会として、自治体の枠を越えたデジタル連携を図る取組の一環として、町が実施している AI デマンドタクシーの「のりあいブコーさん号」をリニューアルしました。

秩父市での乗降場所を増設し、さらなる利便性向上に繋がりました。



チャレンジキッチン ENgaWA

コンパクト スマート レジリエント

旧給食調理場跡地を利用して、交流やくつろぎを楽しめる憩いの場を整備し、令和4年4月にオープンしました。

地元産品を使い、町の新名産・新商品の開発を担っています。

開発した商品 PR を兼ね、随時イベントを開催しています。



美里 Super Town プロジェクト

- コンパクト** 都市機能の集積による生活利便性の向上及び賑わいの創出、町内消費の拡充
- スマート** 町民の健康づくり・データ構築
- レジリエント** 脱炭素社会に向けたエネルギーの地産地消



美里町脱炭素ビジョンを策定

コンパクト スマート レジリエント

令和4年10月、美里町脱炭素ビジョンを策定しました。

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するため、太陽光発電等による再生可能エネルギーの導入や工業団地のエネルギー融通により脱炭素社会に向けたエネルギーの地産地消を目指します。

官民連携

- ・民間誘導等により都市機能の集約を図る
- ・官民連携による地域マネジメントの構築
- ・サテライトオフィスの整備

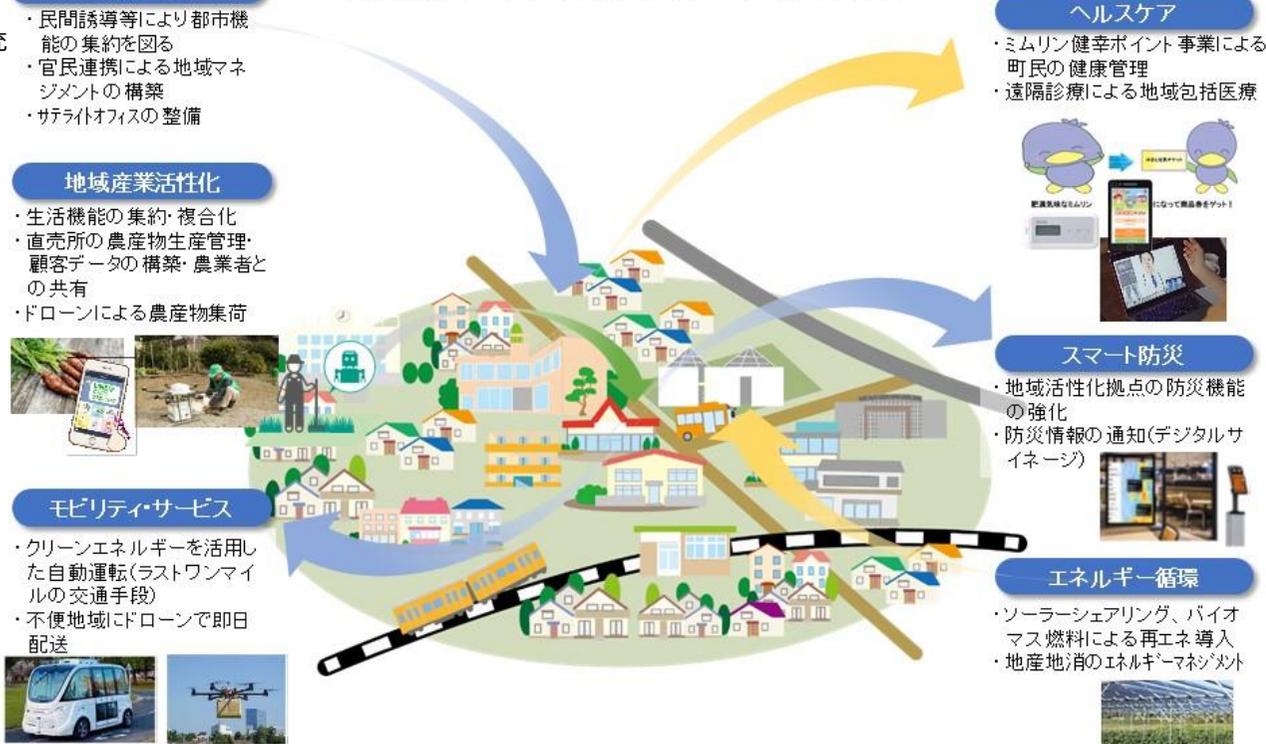
地域産業活性化

- ・生活機能の集約・複合化
- ・直売所の農産物生産管理・顧客データの構築・農業者との共有
- ・ドローンによる農産物集荷

モビリティサービス

- ・クリーンエネルギーを活用した自動運転(ラストワンマイルの交通手段)
- ・不便地域にドローンで即日配送

美里版スーパー拠点のイメージ(施策例)



推進体制

【(仮)美里スーパーシティ協議会の構築】

- ・美里町
- ・埼玉県
- ・地域内企業
- ・地域活性化施設事業者
- ・ヘルスケア事業者
- ・次世代モビリティ事業者
- ・情報通信事業者
- ・電力事業者
- ・コンサルタント(事務局)

町からのメッセージ

コンパクト スマート レジリエント

現在、町では役場と松久駅、寄居スマート IC に囲まれた「まちづくり中心拠点」に進出していただく企業を募集しています。

お気軽にお問い合わせください。

スマート IC による新たなポテンシャルを活かした生活・経済活動の中心となる機能の集約により、町民の生活と自然環境が共生したコンパクトで“美力”的な拠点の構築を目指しています。